

- 問1 東京都には多くの企業の事業所や大学が集中しているため、周辺の各県から多くの人々が移動してきます。このような都市機能の集中が東京都の人口動態に与えている影響として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 奈良県公立入試 類似)
- 交通網の発達により、地方都市から東京都への通学が容易になったため、東京都内にある大学の数は減少傾向にある。
 - 高度な経済機能が集中した結果、地方からの人口流入が止まり、東京都と周辺の県との間での人口移動はほとんど見られなくなっている。
 - 企業の事業所や大学が都心に集まっているため、周辺の県から東京都へ向かう通勤・通学者が多く、昼間の人口が夜間の人口を大きく上回っている。
 - 都心の地価が高騰した影響で、居住地が郊外へ広がり、都心部の夜間人口が周辺の県に比べて極端に多くなっている。
- 問2 茨城県などのように大都市に隣接する地域で行われている、大消費地に近いという立地条件を最大限に生かし、鮮度が重視される野菜などを生産して出荷する農業形態を何と呼ぶか。 (2020年 山形県公立入試 類似)
- 二毛作
 - 促成栽培
 - 近郊農業
 - 抑制栽培
- 問3 神奈川県藤沢市にある江の島は、干潮時に沿岸流が運んできた砂が堆積し、本土と地続きになることがあります。このように、島と陸地が砂州によってつながった地形を何と呼びますか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
- トンボロ (陸繋島)
 - カルスト地形
 - 砂嘴
 - リアス海岸
- 問4 茨城県や千葉県などは、首都圏という巨大な市場の近くに位置していることから、野菜の生産量が全国でも上位にあります。これらの地域で近郊農業が発達している理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 岡山県公立入試 類似)
- 輸送距離が短いため、鮮度の高い野菜を低い運賃で市場に供給できるから。
 - 標高の高い冷涼な土地を活かして、夏でも涼しさを好む野菜を生産できるから。
 - 広大な土地を利用して、航空機や大型機械を導入した効率的な生産を行えるから。
 - 温暖な気候を利用して、他の地域よりも収穫時期を意図的に早めることができるから。
- 問5 関東平野の台地に広く分布している、かつての火山活動によって放出された火山灰が偏西風で運ばれ、長い年月をかけて堆積した赤土の地層を何と呼びますか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
- 沖積層
 - マサ土
 - シラス
 - 関東ローム層
- 問6 横浜市、川崎市、さいたま市などは、東京都心部へ通勤・通学する人々が多く住む「ベッドタウン」としての性格を持っています。これらの都市の人口統計における一般的な傾向として、正しいものはどれですか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
- 他地域からの通勤者が非常に多いため、昼間人口と夜間人口がほぼ一致する。
 - 昼間人口よりも、そこに居住している夜間人口のほうが多い。
 - 夜間に都心部へ移動する人が多いため、夜間人口が極端に少なくなる。
 - 昼間人口が夜間人口を大幅に上回り、昼夜間人口比率が200%を超える。
- 問7 東京都の23区内では、住民登録をしている居住者の数に、周辺の県から通勤や通学によって流入する人を加え、そこから区外へ出る人を差し引いた人口が、居住者の数よりも大幅に多くなります。このように、日中の経済活動が行われている時間帯における人口を何と呼びますか。 (2016年 三重県公立入試 類似)
- 夜間人口
 - 労働力人口
 - 昼間人口
 - 生産年齢人口
- 問8 茨城県、栃木県、群馬県の3県にまたがり、内陸部における高速道路網の整備を背景に、1960年代以降、日本の製造品出荷額等において占める割合を大きく伸ばしてきた工業地域はどこか。 (2018年 高知県公立入試 類似)
- 阪神工業地帯
 - 北関東工業地域
 - 京浜工業地帯
 - 北九州工業地域
- 問9 関東地方の各都県における大学数の分布を、1つの正方形の記号を10校として地図上に配置する統計地図で表現するとします。群馬県の大学数が14校、茨城県の大学数が10校であるとき、この地図上で用いられる正方形の数や表現の説明として適切なものを選びなさい。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
- 群馬県は正方形14個分、茨城県は正方形10個分として表現される。
 - 群馬県は正方形1.4個分、茨城県は正方形0.1個分として表現される。
 - 群馬県は正方形1.4個分、茨城県は正方形1個分として表現される。
 - 群馬県は正方形4個分、茨城県は正方形0個分として表現される。
- 問10 千葉県の太平洋側に位置する九十九里浜は、弓状の平坦で単調な海岸線が約66kmにわたって続いています。川から運ばれた土砂や、周辺の海食崖が削られて生じた砂が堆積して形成された、このような地形を何と呼びますか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
- 干拓地
 - 砂浜海岸
 - リアス海岸
 - フィヨルド
- 問11 千葉県は、昼間人口比率が約89.7となっており、全国的に見ても夜間人口に比べて昼間人口が少ない傾向にあります。このような人口動態が千葉県などの大都市周辺の県で顕著に見られる背景として、最も適切な理由はどれですか。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
- 成田国際空港の利用客や観光客が昼間に多く流入するものの、それ以上に夜間の居住者の増加ペースが速いから。
 - 東京の都心部にある企業や学校へ通う人が多いため、昼間は県外へ流出する人口が流入する人口を上回るから。
 - 京葉工業地域などの臨海部に職住近接の住宅街が形成され、県内での移動のみで生活が完結する世帯が増えたから。
 - 高度経済成長期に整備されたニュータウンの高齢化が進み、県内での生産活動に従事する現役世代が減少したから。
- 問12 関東地方に位置する群馬県の農業において、統計上の農業産出額で野菜や畜産の占める割合がコメに比べて非常に高くなっている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)
- 冷涼な気候を活かした稲作が中心であり、他の関東地方の県に比べてコメのブランド化による収益が野菜を上回っているため
 - 高速道路網などを活用して、近隣の大消費地へ鮮度の高い野菜や畜産物を供給する近郊農業や輸送園芸農業が発達しているため
 - 広大な平野部を利用した大規模な機械化によって、輸出を目的とした小麦やコメの生産に特化した農作業が行われているため
 - 土地が痩せていて稲作が全く不可能なため、県内の全ての農地を牧草地やビニールハウスに転換し、畜産と野菜のみを生産しているため
- 問13 標高約1000mに位置する群馬県嬬恋村と、海岸付近に位置する千葉県銚子市のキャベツ生産を比較したとき、嬬恋村の出荷時期における工夫として最も適切な説明はどれですか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
- 大消費地に隣接している利点を活かし、鮮度を保つために一年中一定の量を出荷する。
 - 冬の温暖な気候を活かし、他の地域よりも早い1月から3月に出荷を早める。
 - 標高が高く雪が多いため、冬の間に温室ハウスを用いて出荷時期を春にずらす。
 - 夏の冷涼な気候を活かし、平地での生産が困難になる7月から10月にかけて出荷量を増やす。